

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力計画供与式報告

テムルマリク郡河岸補強用掘削機供与計画

平成30年10月16日、「テムルマリク郡河岸補強用掘削機供与計画」の供与式がテムルマリク郡で行われました。供与式には、郡長を始め、その他大勢の地元住民が参席し、日本の支援に対して大きな感謝が述べられました。

同郡にはスルホブ川とオビトヒル川という2本の川が流れており、住民の生活に重要な水源となっています。しかし、毎年春になると雪解けによって上流から流されてくる大量の土砂が川底に堆積し、水位が上昇することで洪水が頻繁に起こり、農作物に深刻な被害を与えていました。また、地盤が脆弱な河岸は増水の影響で侵食され、河岸に位置する施設や農地は流される危険性がありました。住民たちは個々の道具を持ち寄り手作業で土砂の除去作業を行っていましたが、春になるとまた土砂が流れ込むため、抜本的な解決には至っていませんでした。

今般本計画により新たな掘削機が整備されたことで、土砂除去作業の大幅な効率化が見込まれ、農業環境の改善や住民の安全の確保にもつながります。



テープカットを行う筒井書記官とアスルゾダ郡長。



供与式ではタジキスタンの伝統のダンスが披露されました。



日本の支援を示すODAプレート。



供与された掘削機の前で記念撮影。